

是か?  
否か!?

# “屋台プロレス”でお馴染みの ヨンドンで、MAが初興行!

MA日本キックボクシング連盟 THE SUPER KICK YOUNG FIGHT 3月19日●神奈川県無国籍屋台15番街ヨンドン

●セミ・ファイナル(ライト級・3分4R)

○小久保勝気(判定 3-0)井上 哲●  
(みなみジム) (港山木ジム)



○約2年ぶりの復帰戦となった井上(右)は、小久保の右ミドルをキッキング、右ストレート、クリンチ、ヒザ回し、というパターンでよく攻めたが、最終Rに右ミドルが効いてしまい判定負け。井上のセコンドには、Kリーグ・開幕戦に備えてタイから帰国したばかりの港太郎(中央)の姿も。

○第8試合はラフなパンチ合戦となったが、スタミナ抜群の重光治郎(右・みなみジム)が真つた。横太郎(白黒ジム)を判定3-0で下す。



○第7試合では、武田幸三(右・治政館)が、右ミドル主体の攻めで、杉山忠夫(白黒ジム)に3-0判定勝ち。



会場全景 出場した選手によると「会場の雰囲気は別に格闘マニアじゃなかった」とのこと



○サウスポーの船津は、左ミドルを蹴っては右前蹴りで突き放す攻撃が得意だった。

○甲斐(旧名:望月)茂仁(右)はパンチ中心に攻める選手だが、船津はひるまず、後半はヒジを度々ヒットさせた船津が、6月2日、後楽園ホールでのフライ級王座決定戦(対山口元氣) 挑戦権を手に入れた。



●メイン・イベント(フライ級・3分4R)  
MA日本フライ級1位  
小久保勝気 vs 井上哲  
●船津勝仁(判定 3-0)甲斐茂仁●  
(治政館) (マイウェイジム)

横浜市鶴見区にある屋台村「無国籍屋台15番街ヨンドン」。

この店の特色は、店内中央に設置された特設リングで行われるプロレスを観戦しながら飲食ができることで、これまで度々、TVや雑誌で紹介されてきた。

その「ヨンドン」のリングで、なんとMAキックが公式戦を行うことになったのだ。

大会をプロモートした南樹三生(みなみジム)会長によると、「これまでMAは後楽園ホール以外では興行を打てないでいたが、ヨンドンから今回の企画を頂き、通常興行だけでは足りない若手の経験の場を提供したい、また、キックを地域に根ざしたものにしたいという思いから、今大会を実施した」とのこと。

なるほど。確かに、試合をしたいのにカードを組んでもらえない。という新人選手が多いのは事実だし、地方進出は格闘技界の一大テーマである。早速、足を運んだ。

会場に到着して目に映ったのは、リングを横目で見ながら酒盛りをする観客の姿。そこらじゅうのテーブルから上がる紫煙がリングを照らす薄暗いライトにつくる影。巨大なトタン屋根のてっぺんでは、換気扇がカラカラと回っている。

そんな中で行われる試合だが、選手達は普段通りの激しいファイティング。セコンド陣の熱の入れようもいつもと変わりないし、ジャッジや関係者も通常のメンバーを揃えていた。むしろ、ドクターも、だ。

試合は全10試合中、8試合目までが、経験3戦以下の選手による3回戦でメイン2試合が4回戦。藤本勲・MAキック会長をして「後楽園ホールでの前座試合よりいい試合が多かった」と言わしめた今大会だが、なかでも、4回戦の内容は素晴らしい。

地下プロレス的、タイの地方スタジアム的。胡散臭さが好きな人には、キックの社会的認知度を向上させようという人には、Xの裁定を下されそうなのこの興行、今月29日(月)みどりの日)をはじめ、定期的に開催される予定だ。(朝岡)